常磐毎日
発行所
平市田町75番地
常磐毎日新聞社
電話(代表)2108番
2109
東京堂のチョコまん
手帖大袋入
電話本店五〇五番
支店五〇八番

海浜に春のだんらん

楽しい遠足の季節

石城地方の小学校は、いま子供遠の楽しい遠足で山に海に観光地は大賑いを見せている。ここ四倉町仁井田浦海岸の松林には連日、遠足に来る子供たちをはじめ付添えのお母さん達で大もてである。

子供たちは現地に着くと昼食をまちきれず、リンゴやサツクの口をあけ〝わあい……おなかのむすびは大きい、うまいなア……〟と大喜びしている姿があちこちつに見られ楽しい思い出にふけっていた。

一方、付添いの父兄も我が子の遠足より自分の遠足のごとく胸をふくらませ、すんだ春の景色に目を細め浄な松林に寝そべっていた。

（写真は賑わう仁井田浦松林）

延べ75万人 うしゆ労

石城地方の失対決る

石城失対事業所の三十六年度の工事計画が決ったが、大部分が継続事業で六十カ所、三億一千万円、動員労務者は延べ七十五万八千人。事業種別では道路整備事業が四十五労を占め、二十七カ所、一億五千万円、市町村別では内郷市が十七カ所と最も多く次いで好間村、勿来市となっている。市町村別の事業内容は次のとおり。

◇平市＝河川工事は下神谷地区赤沼川改良（延長七十五メートル）道路関係は谷川瀬地内の県道平―磐城線、南沢地内の水石山―赤井間県道路の街路新設工事を継続事業で行うなど四カ所

◇内郷市＝十七カ所のうち道路は五カ所。

街路新設は入山―高野、江尻―目抜線、御殿地内に循環バスを通す計画、河川工事は宮川など三カ所、砂防は新川など三カ所水道一、農村道四カ所。

◇常磐市＝六カ所のうち道路四カ所で全部改良工事。農村道は村道湯ノ岳線の新設工事を継続

◇磐城市＝県道磐城―豊間―四倉線、舗引場、館の越線の道路改良工事。

◇好間村＝県道内郷―小川線（大利地内）など四路線の道路改良、行人洗の砂防二カ所、好間川の河川工事一カ所、村道、農道改良四カ所。

◇三和村＝下市萱地内　勿来―小野町線の新規事業としての道路改良、合戸地内の内郷―小野町線の改良工事。

◇川前村＝小白井地区の村道起長七キロを舗装。

◇勿来市＝新規事業として上川田―関田線（鎗町地内）の街路改良、植田町地内の街路新設工事など四カ所。村道一カ所、農道一カ所の新設工事。

◇遠野町＝滝、入遠野商地内の村道新設工事を継続事行で行う事の二カ所。

◇三和村＝下市萱地内　勿来―小野町線の新規事業としての道路改良、合戸地内の内郷―小野町線の改良工事。

◇川前村＝小白井地区の村道起長七キロを舗装。

◇勿来市＝新規事業として上川田―関田線（鎗町地内）の街路改良、植田町地内の街路新設工事など四カ所。村道一カ所、農道一カ所の新設工事。

◇遠野町＝滝、入遠野商地内の村道新設工事を継続事行で行う事の二カ所。

◇平市＝河川工事は下神谷地区赤沼川改良（延長七十五メートル）道路関係は谷川瀬地内の県道平―磐城線、南沢地内の水石山―赤井間県道路の街路新設工事を継続事業で行うなど四カ所

◇内郷市＝十七カ所のうち道路は五カ所。

街路新設は入山―高野、江尻―目抜線、御殿地内に循環バスを通す計画、河川工事は宮川など三カ所、砂防は新川など三カ所水道一、農村道四カ所。

◇常磐市＝六カ所のうち道路四カ所で全部改良工事。農村道は村道湯ノ岳線の新設工事を継続

◇磐城市＝県道磐城―豊間―四倉線、舗引場、館の越線の道路改良工事。

◇好間村＝県道内郷―小川線（大利地内）など四路線の道路改良、行人洗の砂防二カ所、好間川の河川工事一カ所、村道、農道改良四カ所。

◇小川町＝下市萱―小川線（塩田地内）の道路改良工事、夏井川（上小川地内）の河川改良工事の三カ所。

急病人に愛の手

平鉄道公安員の美挙

旅客サービス向上運動は去る一日から五月三十一日まで実施されているが、幼い女の子が列車内で卒倒、平駅に下車した、母親が子供を抱いて迎方にくれているのを平鉄道公安員が平市内の医院に担ぎ込み手当を加え救助するという、うるわしい話が礼状から明るみに出た。

去る十一日常磐線下り急行〝いわき〟二〇九列車が定刻午前一時四十二分着に乗っていた岩手県東磐井郡平泉町宮前次、小野シゲさん（三）の娘孝子ちゃん（二）が約二十分前から列車内で急性気管支炎を起こし倒れ、母親とともに平駅に下車した。しかし夜のことでもあり医院も判らず、困っている姿を見かねた平鉄道公安員鈴木恵吉さん（三）と同三瓶政治さん（三）両人が駅の手をかり平駅前の高久医院に担ぎ込んだ。

このため孝子ちゃんは回復、医師から安静をうながされたが、病室がなく入院できず旅館もないため同公安室を訪ずれ当直主任の川井公安員の世話で同室に泊った。

（鈴木、三瓶両公安員）

有権者一四、一七三

常磐市長選投票所決る

常磐市選管委員会では一週間後に行なわれる市長選の投票所を次のとおり決めた。それによると三十五年国勢調査による有権者数は男一万一千四百九十二名、女一万二千六百八十二名、合計二万四千百七十三名となっている。

また投票所（カッコ内は町内別）は第一投票区（上川、個城、辰ノ口、宝海、高倉、東区、青葉区、宝海区）が湯本第一小学校、第二投票区（八仙一、二、台の山、下、上湯長谷、白鳥、西郷、長孫、岩出、新道、天王崎、栄町一、二、通町、上湯本自治会館、第三投票区（上町、上仲町、裏町、笠井、横町、久須根、上矢田）＝磐島公民館、第四投票区（小野田社内外、高倉、矢力岡、黒玉、下船尾、上の内）＝磐崎公民館、第五投票区（三沢、松倉炭鉱、上湯長谷、湯倉堂、西区、南区、北区、磐崎職員、努力会）＝磐崎鉱会館、第六投票区（小野田社内外、高倉、矢の倉炭鉱、磐崎）＝小野田炭鉱事務所、第九投票区（三沢、松久須根、上矢田）＝磐島公民館

田代部落を慰問

常磐市の旅の会で

常磐市部の会〝途上〟（会長佐藤一郎）では二十三日山村部落の子供たちを慰問するため、湯ノ岳中保育所に市役所まえを出発、菓子などみやげ袋を持っていくほか、部落の子供たちをあつめて芝居やゲームをして遊ぶことになっている。

東京だより

諸橋市長と語る

城山・山人

久しぶりに東京の福島県事務所に現れたら、諸橋久太郎市長と会った。百万都市建設の運動やらその他で東京にきたという。何年ぶりかで会ってみると、その昔のような顔色もよく、少しやせたようだがすこぶる元気のようであった。市長の忙しい職にあるので第一に健康が安じられていたのだが、その心配なさそうなので安心した。

将来を計画している、胸中を知って処しかった。

その第一は郷土の発展を如何にすべきかの点にある。これに対しては、平市のみでは当面の工場を誘致することは不可能であるとの立場を堅持されまでも、他の都市も皆んな親類のようなもの。それを排除してまでも、平市のみが発展しようとするこれは、彼らに他の都市を犠牲にするばかりでなく無理な競争をやり、彼らに金を使うのみとなるばかりでなく各都市が一丸となるならば、工場の誘致的な共益的な地域ある都市が一丸となるならば、工場の誘致的な家としての資格はないかと思う。

最後に諸橋市長は、平市民と市長との間柄ほど親密なものはない、いろいろな条件も簡単に出来るのではないだろうか。こう考えると、百万都市建設は、単に国家からの援助や指導があるばかりでなく各都市とも、次きな夢を築せることが出来るのではあるまいか。

各都市の合同は研究の段階は終って、いまや実現の域に到来しているのではあるまいかと思う。その首市町村合併が行なわれることきます第一に、合併した暁に市長となるのか、何人をも一日も早く確定して欲しい。

東京堂のチョコまん

手帖大袋入

電話本店五〇五番　支店五〇八番

御宴会なら無駄なお金は入りません

安い会費の　酒喜庵

電四二一一

定置網設定

漁船は注意を

小名浜地区保安部では豊間漁組が平市塩屋崎灯台の南東約二千五百メートル沖合に定置網を設置したため、付近を航行する船舶は注意するよう各漁協組、船舶会社に警告した。

定置網はサリの落し網で別図は三十七年一月二十日までとなっている。

玉山防犯協を結成

四倉町玉山地区の防犯協会結成式は二十三日午後二時から玉山区石原派出所で開く。当日は四倉派出所長はじめ関係者が集り役員を選出する。

田人小遠足

石城郡田人小学校（鈴木武校長）の遠足の目程が十八日決った。それによると、一、二年生は沙見様、三年生渡柄公園、四、五年生は県立青少年会館、六年生高梁ダムで二十五日。

不良化防止など推進

磐城社会福協

磐城市社会福祉協議会総会は二十二日午前十時から同市永崎の幼稚園で開き、三十六年度事業計画予算などを協議する。事業として心配ごと相談所の拡充、青少年の不良化防止運動の展開、老人クラブ結成の促進などがあげられている。また席上で社会事業に功労のあった次の二氏を会長表彰する。

▼佐藤貞治（前、文教厚生委員長）▼小野作太郎（前、市区長連合会長）

泉婦人会の新役員決る

磐城市泉町婦人会総会は、この程ひと開き、三十五年度決算、事業を報告と三十六年度事業計画などを決めたあと役員を次の通り選出した。

◇会長＝佐藤貞治◇副会長＝吉田忠雄、吉田忠平、鈴木コウ◇厚生総務委員長＝四家敬幸◇婦理委員長＝鈴木設雄◇成人教育委員長＝渡辺校外補導委員長＝勝本金一郎。

23日に連合検閲

平で優良団員など表彰

県消防協会平支部の連合消防団検閲式は二十三日午前八時半から平市本町（二丁目―五丁目）に平、好間、川前、小川、三和の六市町村から千八百人が参加、支部長岡田政治郎氏の閲兵を受けたあと、午前九時半から磐高校庭で検閲を行ない鈴木勇治郎氏功績第十三条はじめ、永年勤続の六十四団員を表彰する。

◇功績賞＝平鈴木勇治郎、近藤勝一、佐川正志、永山定義、小山竹二、赤堀誠、三和、吉田泰三、合津一智、好間、阿部勝近。

エプロン姿の主婦も

古河好間 一千余名がデモ行進

炭労大手七社統下の古河好間炭鉱労組（組合員数管僧二氏、組合員千百名）では炭労の指令で十九日から無期限スト に入っているが、二日目の二十一日は午前九時から約二千名の組合員があつまって総決起大会を開いたあと整然としたデモ行進にうつった。

常磐副組合長のあいさつ、斗争経過報告のあと十八日の中労委あっせんの妥協案などや央情勢報告があったのち「全組合員、家族が一致団結して斗い、要求を貫徹する」という決議文を採択した。

次いで午前九時から組合まえに集った約千人の組合員が、家族が一緒につくった弁当をひろげ昼食をとりながら、炭労歌を唱って市内を各地区にデモ行進に入った。デモは磐区、西区、南区をまわって午前0時ごろ解散した。

（写真は古河炭鉱のデモ行進）

木田市議ら七氏

磐城 県体育指導員に

磐城市教育委員会では、このほど県体育指導委員七人を次のとおり推せんした。

▽市部＝木田谷平（宝七）▽市体協理事長＝小林直三郎（三七）▽石城地区中体連理事＝鈴木一平（四三）▽市野球審判協会役員＝菅原照男（三七）▽市体協理事＝宮本弘毅（三七）▽会社員＝菅原男（三七）▽石城地区体協理事＝小林直三郎（三七）▽市体協理事＝鈴木一平（四三）▽市野球審判協会役員＝四家敬幸（四二）▽市体協渡辺地区役員＝中村純（三七）

14人が検挙さる

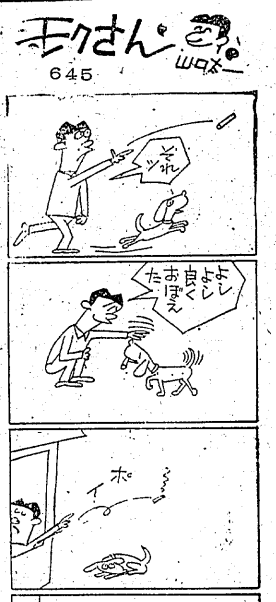
平署で交通一斉取締り

平署交通課では学童の交通事故防止と道路を広く使う運動を行なっているが、きょう二十一日朝八時四十分から同十時五十分まで市内九カ所の交通路の多い場所で交通一斉の指導取締りを実施した。

その結果、検挙したもの十四件（うち無免許二、速度違反五、免許証不携帯一、駐停車違反一、一時停止違反二、一ぽう注意勧告の三十九件で一時停止、道路不正使用などが多かった。また遊反カード交付七十二件、駐禁通告書交付七件。

ドドンパッと二
週間で三千羽
藤越
平市
越
ムードの花園
旅館
小名浜
平市内郷沢尻町
赤ハチマキとエプロン姿の主婦もまじって千人近い組合員が労
体育指導委員七人を次のとおり推
理事＝小林直三郎（三七）▽市体協理
事長＝鈴木一平（四三）▽石城地区
中体連理事＝宮本弘毅（三七）▽会
社員＝菅原男（三七）▽市野球審
判協会役員＝四家敬幸（四二）▽
市体協渡辺地区役員＝中村純（三七）
平出張所開設
中途募集
経験者……2名
見習者……2名
塗装者……1名
◇女店員　◇高級優遇
◇常磐市緑町電一五九
中央遊技場
求む
詳細面談
松下電器直売株式会社福島県広告代行店
株式会社 クロネコ広告社
平出張所
代表取締役　宮沢直治
本社　郡山市神明町68電1242
出張所　平市鎌田町56
同窓会のお知らせ
磐城女子高等学校同窓会長　酒井ツネ
日時　四月二十九日午前十時半より午後三時まで
会場　磐城市沖見町二十一　新よね　電話三〇八
臨港鉄道小名浜駅下車、又はバス金属歯前下車
どちらでもすぐ近くです。
会費　食券三百五十円
記念の贈りものは
誠光堂の
イネワ
ケガヒ
トメユ萬年筆を……
眼鏡部新設
平銀座
誠光堂
TEL3496
▽庭石▽盆栽▽盆庭木▽各種苗木造園請負
中山造園
平市北町鹿（呼）五九〇八
スポーツスーパー
カブ号
十カ月分割払いで
お気軽に求められます
※御報参上
佐藤輪業
平市月見町　電六四五一
耳鼻咽喉科
鈴木医院
院長　鈴木正男
平市田町　電話2613番
おまえ百まで
わしや九十九まで
共に盛焼きながら……
孫と祖父とに手を引かれ今日
も行きます中央さかえ
折詰（各種）御注文に応じ調製
致します百円から
味自慢
中華冷しそば　六〇円
中央
さかえ
TEL4644

常磐毎日新聞
（第三種郵便物認可）定価一カ月100円・一部5円



NHK第1【今晩】ラジオ福島

6.05 アルタイをこえて
6.30 一丁目一番地
7.15 きょうの国会から
8.30 浪花演芸会
8.00 ここはどこでしょう
8.30 夜のステレオ
9.10 ニュース解説
9.25 浪曲 歌 劇
10.10 無視される義務教育
10.30 音楽のたのしみ
11.10 難航する日ソ漁業交渉
11.30 島の生活

6.00 ジヤジヤ馬くん
6.30 フクちゃん
7.15 歌謡曲アワー
8.30 お楽しみ演芸館
8.00 農人歌合戦
8.50 スイートメロディー
9.00 浪曲歌合戦
9.45 愛の渦潮
10.05 連続浪曲
10.30 愛のリズム
11.05 宮本武蔵
11.50 お休みの前に

↓【明朝】↓

5.05 聡取者だより
5.42 豚の仔下りをどうみるか
6.27 朝の小鳥
6.40 人生読本
7.35 海外特派員報告
8.05 小説 らくだのこぶ
8.05 おはよう奥さん
8.30 波浮
9.05 最近の指輪
9.30 タイと竹の子のすし

5.00 今日も元気で
5.30 おはようミュージック
6.10 君とあなたと裕次郎
6.35 スーパーメロディー
7.10 モーニングエコー
8.30 ねナイショヨだよ
8.05 お早よう!ダークダツン
8.35 あさって奥さん
9.00 陽気な山彦さん

NHK【今晩】テレビ

6.00 チロリン村とクルミの木
6.35 ふしぎな少年
7.15 バス通り裏
7.30 おとぎの国
8.00 北米大陸を行く
9.00 学園まえ
9.30 今日のニュース

夏期大学など開く
常磐婦連役員も改選

常磐市婦人団体連絡協議会の総会は二十日午前十時から磐城会館に約二百人が集つて開き、三十五年決算報告のあと新役員と三十六年度の行事計画を次のとおり決めた。行事は四月総会、五月県会長研修会、七月講習研修会、夏季大学、九月政治教室、十月懇談祭、一月新年会、二月市連会長研修旅行、三月改選準備。▼会長＝沢田よし▼副会長＝浄土キウ（鹿島鉱亀の尾主婦の会）菅野さわい、滝とみ子（磐城婦人会）▼会計部長＝後藤タカ子、野木ウメ▼書記＝長谷部ミヨ、飯土井よ（磐区主婦之会）▼会計監査＝平松タキノ（磐豊区主婦之会）佐藤シゲ（同）▼理事＝小松トシ子代十名。

また席上坂本ユキオ（内町水の出）、篠崎タケ（高坂立野）、高嶽ヒサ（高萩）、天海智江（白水川平）の四人に感謝状と記念品が贈られた。

四人は監査として長い間本会役員として会の運営と発展に功績をつくしたものである。三十六年度の行事予定は次のとおり。

▽五月県婦人研修会▽六月小旅行▽七月婦人講習会▽八月研修会▽九月団体旅行、市政会懇談▽十月市政をきく会▽十一月社会福祉事業懇談▽十二月料理講習▽一月新年会▽二月休憩発表会▽三月市政会懇談

小野会長を再選
内郷婦人会の行事決る

明るい家庭をつくる母親としての教養を高め、青少年を健全に育成しましようという大会スローガンをかかげた内郷市婦人会総会は二十日午前十時から市公会堂に吉田徳治氏（小名浜三小校長）を招いて開き、三十五年度会計報告、三十六年度事業計画、役員改選を行い、会長に小野ロク、副会長に仲絵すず、鈴木きよの三人がそれぞれ再選された。

白土さんら表彰
四倉小PTA総会で

四倉小学校PTA総会は二十日午前十時から同校礼法室に約百六十人の父兄が集り開かれた。三十五年度事業報告、会計監査報告、決算報告などのあと役員を選出した。この席上で泊地区PTA連絡協議会（会長氷野孝夫氏）から同校父兄遊佐正平、今井吉太郎、白土ユキの三人をPTA会の発展向上に尽した功労者として表彰された。また同校PTA住司会長から元教頭柳井七郎（退職）元教諭鈴木重司（退職）の二人に対し、長年の間PTA発展のため一貫して心身の調査に尽された功績は大きいと感謝状と記念品が贈られた。役員は次のとおり。

▼会長 住司久吉（再）▼副会長 斎藤誠（再）白土ユキ（新）▼会計監査 坂本定雄、金成一。

◇各部役員長▼総務、大塚勇子▼施設、杉山浩一▼校外補導、佐藤栄吉▼文化、佐藤初助▼福祉、新井百子▼施設、杉山浩一▼校外補導、金成一。

富士に立つ若武者
源氏再興の時代絵巻

映画 東宝 次週上映

☆物語☆

平治元年十二月、都での平家との戦に武運つたなく一敗地にまみれた源氏一族は、平家の急追に会い次々と鴨の河原を紅に染めて倒れた。さしも隆勢を誇つた源氏も、大将義朝をはじめ僅かに数騎を残すのみとなり、呆つく秋月明の下を二日となつて落ちて行つた。

だが、途中鈴山の荒法師に行く手をさえぎられ、激斗の末死体を脱したとはいえ、義朝の次男頼朝は鎌死し、三男朝宗は折からの比叡おろしの猛吹雪に道を迷い、父の一行を見失つてしまつた。

針の様に肌をさす寒風、一寸先も見えぬ白魔をついての逃避行に力尽きて頼朝が倒れた……が、源氏再興を計る母の常盤は、三条河原で捕えられ、牢に入れられた。

都に送られた頼朝、鬼武次、志乃は、三条河原で処刑寸前、清盛の母禅尼の命乞によつて救われ、伊豆の配所に流された。

それから十年の月日が流れた。

頼朝は忠臣佐々木定綱、盛綱、それに鬼武次兄妹に守られて、伊豆の配所で謹慎三昧静かな日々を送つていたが、ある夜、目代配下に追われる頼朝の友常を救つた北条時政の娘政子の美しい姿が、頼朝の心をとらえた。

そして、この恋から定綱を中心に源氏再興を計る五の家臣が生まれるなど、頼朝の周囲は次第に動きはじめていたのだ。

新に井豆目代として平家随が赴任したのは、丁度この頃であつ